

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

薬剤	投与量	投与日 1 コース 3 週間 Day 1.....8.....15.....22
パージェタ	初回 840 mg/body、2 回目～420 mg/body	↓
トラスツズマブ	初回 8 mg/kg、2 回目～6 mg/kg	↓
ドセタキセル	75 mg/m ²	↓

注意事項

ドセタキセルは起壊死性抗がん剤です。血管外漏出に特に注意してください。

心機能に注意 投与前には心機能を評価する (EF 50%以上)

パージェタ 840mg を投与する時：心電図モニター、BP、HR 測定、全身状態の観察が必要 (詳細は投与方法の項を参照)

添付文書より：パージェタの投与が遅れた際には、以下のとおり投与することが望ましい。

- 1). 前回投与日から 6 週間未満のときには、420 mg を投与する。
- 2). 前回投与日から 6 週間以上のときには、改めて初回投与量の 840 mg で投与を行う。なお、次回以降は 420 mg を 3 週間間隔で投与する。

添付文書より：トラスツズマブの投与が遅れた際には、以下のとおり投与することが望ましい。

- 1). 前回投与日から 6 週間未満のときには、6 mg / kg を投与する。
- 2). 前回投与日から 6 週間以上のときには、改めて初回投与量の 8 mg / kg で投与を行う。なお、次回以降は 6 mg / kg を 3 週間間隔で投与する。

投与方法：1 日目	
1	生食 100mL、メインルートをプライミングし、止める
2	初回 <u>パージェタ 840 mg</u> 、生食 250mL、60 分、下の側管から投与 以降 <u>パージェタ 420 mg</u> 、生食 250mL、(初回で問題無ければ) 30 分、下の側管から投与 <u>パージェタ 840mg を投与する時、下記を実施</u> <u>心電図モニター</u> <u>投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：BP、HR 測定</u> <u>投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：全身状態の確認 (呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気)</u>
3	生食 50mL 下の側管から <u>パージェタ 840mg</u> を投与する時：ゆっくりルートキープ、30 分間投与 (残破棄可) (問題なければ) 以降：ゆっくりルートキープ、15 分間投与 (残破棄可) 経過観察
4	<u>トラスツズマブ</u> _____ mg、生食 250mL トラスツズマブは注射用水で溶解：60mg/3mL、150mg/7.2mL 90 分、(問題なければ) 次は 60 分、(問題なければ) 以降 30 分、下の側管から投与 注意：点滴時間は前回投与から 8 週以上経過している時は 90 分で投与 (初回扱い)
5	グラニセトロン (3mg/100mL) 1V、デキサート(1.65 mg/0.5mL) 5 A 30 分かけて点滴、下の側管から投与
6	<u>ドセタキセル</u> _____ mg、生食 250mL 60 分かけて点滴 上の側管から投与
7	1 の生食を使用し、ウォッシュアウト ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄